

第8回 徳島市在宅医療市民公開講座

徳島市在宅医療・介護連携推進事業

# 「在宅医療」を一つの選択肢に…

## ～“最期まで自宅で過ごしたい”を叶えた家族の物語～

北海道・静岡県・香川県・徳島県巡回公演

劇団たんぽぽ  
舞台劇

# 『ゆずり葉の季節』



あらすじ

制服を着て、カメラの前に立つ美咲。美咲は、この春から、中学生になる。美咲のすぐ隣には、ベッドに横たわる祖母とし子。そして、父、母、叔母。さらに、とし子のかかりつけの医師や看護師がとし子を囲み、カメラに向かって笑っている。幸せそうな家族写真だ。しかし、この時、すでにとし子は、亡くなっている。なぜ、こんな写真を撮ることになったのか。撮ることができたのか。初めて、身近な人の命と向き合うことになったとき、家族それぞれの思いが交錯する。

「旅立つとし子が残したものは?」「それを受け取った家族の想いとは?」

PR動画は  
こちら⇒



日時 令和2年  
**3月1日**  
14時00分～16時30分

ご来場の方には  
徳島市  
エンディングノート  
をプレゼント!

### 徳島県教育会館 大ホール

〒770-0003 徳島市北田宮1-8-68 TEL 088-633-1511  
※駐車場に限りがございますので、なるべくお乗り合わせ等でお越しください。

申込み方法  
お問い合わせ 裏面をご覧ください。

### ・プログラム・

- 13:00 受付・開場
- 14:00 開会 あいさつ  
徳島市長  
徳島市医師会長

遠藤 彰良  
宇都宮正登

- 14:10 講演「徳島市の在宅医療」  
徳島市医師会在宅医療連携委員長 豊田 健二
- 14:40 舞台劇「ゆずり葉の季節」 劇団たんぽぽ
- 16:30 閉会

※出席者等については現在調整中のため、当日変更する可能性があります。

参加費 入場は無料ですが、整理券が必要です。  
※小学生2年生以下の入場はご遠慮ください。(託児サービスがご利用できません。)

定員 先着700名

主催/徳島市、一般社団法人徳島市医師会、公益社団法人教育演劇研究協会(劇団たんぽぽ) 協力/一般社団法人徳島西医師会  
後援/徳島県、徳島市教育委員会、一般社団法人徳島県医師会、一般社団法人徳島市歯科医師会、徳島市薬剤師会、徳島県慢性期医療協会、公益社団法人徳島県看護協会、徳島県訪問看護ステーション連絡協議会、NPO法人徳島県介護支援専門員協会、公益社団法人徳島県理学療法士会、一般社団法人徳島県作業療法士会、徳島県言語聴覚士会、一般社団法人徳島県歯科衛生士会、公益社団法人徳島県栄養士会、徳島県ホームヘルパー協議会、徳島県医療ソーシャルワーカー協会

申込FAX

088-625-3965

会場

# 徳島県教育会館 大ホール

徳島市北田宮1-8-68 TEL / 088-633-1511

※駐車場に限りがございますので、なるべくお乗り合わせ等でお越しください。



駐車場は徳島県教育会館駐車場、ヤマダ電機立体駐車場、吉野川運動広場多目的広場(旧吉野川橋西側南岸)のいずれかをご利用ください。

申込み方法

下記申込み先まで、はがき又はFAX・Eメール・インターネット(下記QRコードからもアクセス可)にて、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入の上、お申込みください。

※先着700名様で締め切りとさせていただきます。当選の通知は、整理券の発送をもって代えさせていただきます。お送りいただいた個人情報は、公開講座の運営に限り、使用いたします。ご本人の同意なく第三者に開示・提供する事はありません。整理券の発送は2月中旬ごろを予定しています。

応募締切:令和2年2月14日(金)(当日消印有効)

お問い合わせ先

〒770-0847

徳島市幸町3丁目77番地

TEL 088-625-3960 FAX 088-625-3965

一般社団法人 徳島市医師会

徳島市在宅医療支援センター

E-mail info-zaitaku@tokushimashi-med.or.jp



住所	ふりがな 氏名	電話番号
〒 _____		
〒 _____		
〒 _____		

## 託児サービス申込み票

託児サービス(無料)をご希望の際は、必ず事前にお電話でお問い合わせください。TEL.088-625-3960 定員になり次第、締め切らせていただくことがあります。

ふりがな		性別	年齢
お子さまの氏名		男・女	歳 ヶ月
ふりがな		連絡先	
保護者氏名			

## 『上演にあたって』

この作品は、厚生労働省の推薦を受け、劇団たんぽぽ創立70周年企画として、一般公演を行ってきました。そこで、出会った多くの方から「もっとたくさんの人に観てほしい!」「ぜひ、この作品を中高生に!」との熱い声が上がっています。作品制作のきっかけは、これからの高齢社会を見据え、在宅医療に携わる現役医師からの依頼ではありましたが、これは、決して、在宅医療、看取りを推奨する演劇ではありません。命の物語。家族の物語として観てもらえたらと思います。

実際、医療介護に携わっている方々、高齢者や病気のご家族を抱えている方々には、現実はこのまんじやないと思われる方がいらっしゃると思います。しかし、だからこそ、虚構のお芝居の中では、理想を、こんな風になれたらどんなにいいだろうということ、観てもらいたいと思うのです。

人と人のつながりが希薄になりつつある今、私たちは、自分が暮らす地域で、これからどのように助け合い、関わり合い、つながって生きていくことができるのか。そして、子どもたちに、何を残し、何を伝えていけるのか。そんなことを少しでも考えるきっかけになればと願っています。

ゆずり葉のように、受け継がれてきた命や想いや願い。自分がここに生きていることの奇跡や幸せを感じてもらえたら、うれしいです。

素晴らしい舞台でした。父を自宅で看取ったので色々なことを思い出し胸がいっぱいになりました。息子と一緒に見られて本当に良かったです。

「ゆずり葉の季節」  
に寄せられた感想

死んでしまうつらさがよく分かりました。だれかが生きているのがもうちょっとって聞くとたいへんということもわかりました。(小学生)

高校生のこの時、今、この舞台を見られて良かった。

生きるということについて深く考えさせられる素晴らしい公演でした。

家族のあたたかさ、命をつなぐ...グッとくるとても良い公演を観させていただきました。